

平成31年3月28日より北海道つべつまちづくり株式会社が始動

津別町は、人口減少と地域経済縮小の悪循環の克服を目的に、平成27年10月に策定した「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を皮切りに、地方創生を官民協働で進める「まちづくり会社」の設立を模索してきました。平成30年8月にそれを推進する統括マネージャー、サブマネージャーを採用し、事業計画を作成、出資者を募り、3月22日の創立総会を経て、平成31年3月28日に設立されました。



1. 北海道つべつまちづくり株式会社の経営理念

**町の魅力的な人や自然の価値を最大限に引き出して
子供や孫の代まで誇れる故郷として津別町を発展させる**

そのために、地域の関係者・町民の「意欲・能力」を結集させ、「稼ぐ力を生み出す」まちづくり戦略立案と実行を支援し、町の所得と関係人口を増やす施策を次々と実行することで、オホーツクを代表する地方創生のリーディングカンパニーとなる

2. 北海道つべつまちづくり株式会社の概要

会社名	北海道つべつまちづくり株式会社
所在地	北海道網走郡津別町字幸町12番地（コワーキングスペースJIMBA内） ※5月中の入居を予定。それまでは津別町役場内で活動中。
代表取締役	竹俣信行（前津別町副町長）
取締役	松林尚史（統括マネージャー） 山本洋子（サブマネージャー） 森井研児（住民企画課課長）
監査役	五十嵐正美（会計課課長）
資本金	4,025万円
株主	津別町、丸玉木材株式会社、北見信用金庫、網走信用金庫 他個人株主含む計72の組織・個人より出資

3. 北海道つべつまちづくり株式会社の事業内容

事業項目	事業内容（一部計画中的のものも含まれます）	
地域商社事業	フードホール運営・他関連事業	・津別町内フードホール（マルシェ）等での物販・飲食事業 ・定期的な出張イベントにおける物販・飲食事業展開
	ふるさと納税 インターネット販売事業	・町からの受託業務：ふるさと納税事業の一連施策強化 ・津別町特産品のインターネットでの販売（海外含）
	特産品開発・事業創出支援	・マルシェやインターネットでの販売を前提とした新規特産品開発（クマヤキサブレ、つべつ和牛特産品、ジェラート等開発中） ・事業創出における各種相談、マーケティング戦略策定・実施
移住・起業家誘致支援	移住情報管理	・町からの受託業務：移住・起業推進窓口 ・空き家バンクホームページの運営、移住・定住ホームページの運営
	起業家支援	・起業を考えている方への研修・塾、インターンの整備
	人財マッチング	・人財バンクの運営 ・地域おこし協力隊採用、管理
他	ファンクラブ運営	・津別町情報サイトの立ち上げ、情報整備、マーケティング
	教育事業	・幼児から大人まで、階層別に習い事講座開設・運営
	観光	・町内事業者（産業振興課、観光協会、NPO法人森のこだま等）と連携した観光戦略立案・実行

トピックス

平成31年2月23・24日に開催した「フードホール」は大盛況に終わりました

去る2月に多目的活動センターさんさん館で実施した、まちづくり会社の初イベント〈当時は（仮称）津別町まちづくり会社設立準備会として企画・運営〉は2日間で約2,700名（町外の方が7割）の来場者が訪れ、津別町の特産品や料理を堪能いただきました。

今後も、定期的なイベントを開催したり、特産品を販売する場を持つことによって、津別町ブランドの発信、町内店舗への誘客、関係人口の増加を図っていきます。



▲会場に設けられた特設イベント
◀来場者でにぎわうさんさん館